

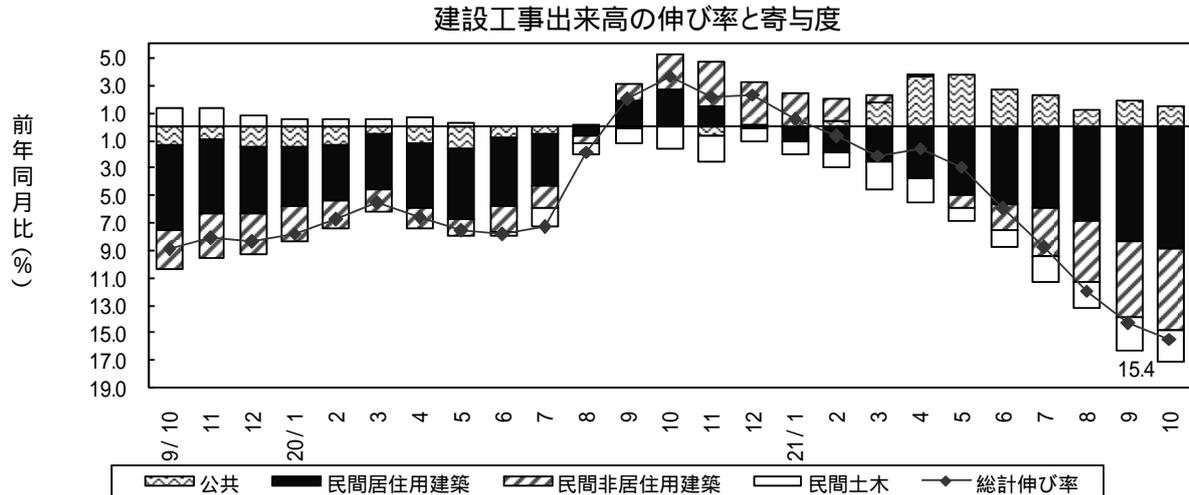
# 1. 建設投資の概況

## (1) 建設工事出来高

10月の建設工事出来高は、全体で3兆8,795億円と前年同月比15.4%減少した。

公共は、建築が2,244億円（前年同月比6.9%増）、土木が1兆4,597億円（同4.2%増）となり、全体では1兆6,841億円（同4.5%増）となった。

民間は、建築が1兆7,563億円（前年同月比27.8%減）、土木が4,391億円（同19.3%減）となり、全体では2兆1,953億円（同26.2%減）となった。



(単位：億円)

区分	年度年月	総計	民間	建築		土木	公共
				居住用	非居住用		
年	18年度	528,833	353,226	289,561	195,441	94,119	175,608
	19	500,514	330,587	261,618	176,043	85,575	169,927
	20	491,749	322,516	258,227	168,924	89,302	169,232
月	20年7月	34,287	22,767	18,293	12,256	6,037	11,520
	8	35,529	22,793	18,371	12,419	5,952	12,736
	9	37,066	22,341	17,829	12,080	5,749	14,724
	10	38,795	21,953	17,563	11,914	5,649	16,841

(前年比・%)

年	18年度	1.4	4.3	3.9	3.7	4.3	6.2	11.0
	19	5.4	6.4	9.6	9.9	9.1	8.3	3.2
	20	1.8	2.4	1.3	4.0	4.4	6.8	0.4
月	20年10月	3.6	5.6	10.3	8.0	15.0	11.4	0.3
	11	2.2	4.7	9.8	4.6	21.3	13.3	1.7
	12	2.3	3.5	6.5	0.2	21.7	7.1	0.4
	21年1月	0.5	0.8	2.9	3.4	16.6	6.9	0.0
	2	0.7	2.0	0.5	5.7	10.3	7.3	1.3
	3	2.1	6.2	4.1	8.1	3.9	12.6	4.5
	4	1.6	8.1	7.2	11.0	0.1	11.2	11.3
	5	2.9	9.2	9.9	12.6	4.7	6.4	14.3
	6	5.9	12.0	12.9	14.4	10.0	8.5	10.1
	7	8.8	15.6	16.1	15.2	17.8	13.3	8.5
次	8	11.9	18.9	19.9	18.1	23.3	14.5	4.1
	9	14.3	23.9	25.0	22.8	29.2	19.1	6.1
	10	15.4	26.2	27.8	25.5	32.2	19.3	4.5
累計	4月~10月	9.1	16.7	17.5	17.4	17.6	13.3	7.9

資料：国土交通省「建設総合統計」

## (2) 公共機関からの受注工事

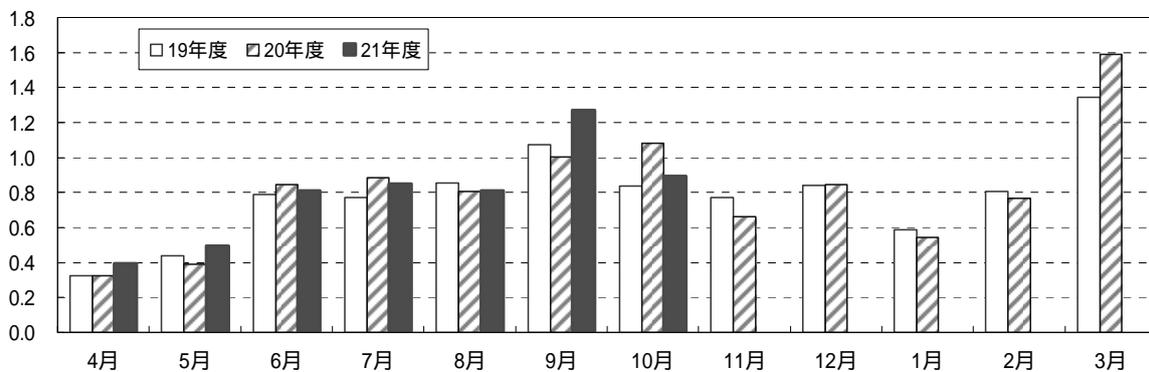
10月の公共機関からの受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は8,946億円で、前年同月比17.3%減少（3ヶ月ぶり）した。うち国の機関からは3,020億円で同30.9%減少（2ヶ月ぶり）、地方の機関からは5,926億円で同8.1%減少（4ヶ月ぶり）した。

工事分類別でみると、港湾・空港（前年同月比50.0%増、寄与度+1.1）、庁舎（同46.4%増、寄与度+1.1）等が増加し、郵便（同99.8%減、寄与度-8.5）、道路（同14.2%減、寄与度-4.4）等が減少した。

さらに、発注機関・工事分類別でみると、独立行政法人の鉄道・軌道（寄与度+1.1）、都道府県の港湾・空港（寄与度+0.7）、市区町村の庁舎（寄与度+0.7）等のプラスの寄与度が大きい。

10月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比39.4%減少（2ヶ月ぶり）した。

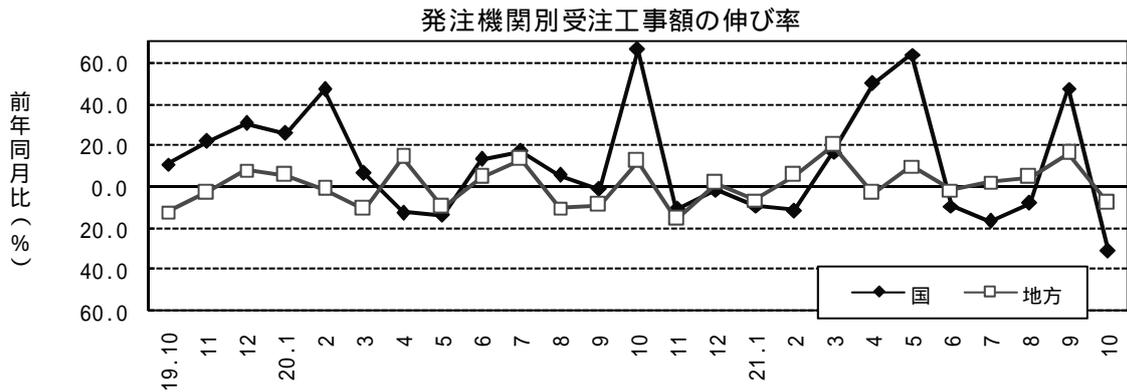
公共機関からの受注工事額の推移



公共機関からの受注工事額（前年比・%）

区分	年度年月	総計	国の機関				地方の機関				
			小計	国	独立行政法人	政府関連企業等	小計	都道府県	市区町村	地方公営企業	その他
年	18年度	12.8	10.0	3.6	-	-	14.2	15.2	12.8	16.9	13.8
	19	0.5	16.9	8.7	50.1	18.6	8.0	2.8	11.4	2.5	33.5
	20	3.3	6.5	7.9	8.6	13.6	1.2	0.8	2.2	1.2	14.0
月	20年10月	29.2	66.4	45.3	43.5	114.2	12.2	19.2	5.8	15.1	12.2
	11	13.9	10.9	0.5	5.3	29.1	15.3	5.4	20.5	37.9	36.9
	12	0.5	1.5	21.0	18.0	19.6	1.7	11.5	5.6	61.0	14.5
	21年1月	7.6	9.3	11.8	2.3	8.8	6.5	10.7	7.9	32.0	13.1
	2	4.9	11.4	8.5	22.9	6.7	5.7	2.2	8.4	6.0	98.3
	3	18.1	16.8	27.4	5.7	0.4	19.8	19.0	11.6	43.4	74.2
	4	21.8	50.0	68.3	34.2	29.3	3.2	31.8	4.4	24.4	56.4
	5	27.5	64.0	50.0	18.1	107.9	10.1	36.6	16.4	37.2	47.1
	6	4.0	9.3	33.7	3.3	37.6	1.6	29.1	26.7	50.1	4.9
	7	3.9	16.6	15.1	43.7	9.8	2.5	1.8	4.1	19.9	40.0
次	8	0.2	7.9	24.7	55.3	41.2	4.5	6.6	8.4	41.4	37.9
	9	26.7	47.8	65.0	12.6	43.9	16.4	17.6	16.3	3.6	43.2
	10	17.3	30.9	19.1	8.0	56.1	8.1	13.0	3.0	22.1	71.7
累計	4月～10月	3.6	4.4	22.0	12.7	14.5	3.1	1.0	10.7	12.0	7.8

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計」



政府建設投資関連指標 (単位:億円)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額( )	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	(国の機関)	(地方の機関)	大手50社			
19年度	94,329	37,381	56,948	21,031	117,818	169,927	203,609
20	97,405	39,793	57,612	25,977	117,951	169,232	200,911
21年 期	25,897	9,567	16,329	6,590	27,990	52,157	61,670
21年 期	28,988	15,807	13,181	10,119	28,338	48,651	56,725
	16,988	6,701	10,288	3,459	32,131	35,422	41,945
	29,320	9,902	19,417	5,383	36,888	38,980	47,346
5	4,961	2,057	2,904	815	7,866	10,444	
6	8,101	2,374	5,727	1,788	10,977	10,804	
7	8,505	2,464	6,041	1,549	12,511	11,520	
8	8,094	2,557	5,537	1,285	10,063	12,736	
9	12,721	4,881	7,839	2,548	14,314	14,724	
10	8,946	3,020	5,926	1,827	12,665	16,841	

(前年比・%)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額( )	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	(国の機関)	(地方の機関)	大手50社			
19年度	0.5	16.9	8.0	0.8	4.1	3.2	4.1
20	3.3	6.5	1.2	23.5	0.1	0.4	1.3
20年 期	5.8	17.4	0.0	58.3	2.8	0.3	1.3
21年 期	5.8	3.6	8.6	7.3	7.8	2.1	0.3
	9.2	24.4	1.2	14.5	13.0	11.8	11.1
	8.7	9.6	8.3	3.1	11.2	6.1	5.8
20年10月	29.2	66.4	12.2	242.0	0.4	0.3	
11	13.9	10.9	15.3	3.9	2.8	1.7	
12	0.5	1.5	1.7	11.9	6.4	0.4	
21年1月	7.6	9.3	6.5	26.0	1.9	0.0	
2	4.9	11.4	5.7	26.5	2.8	1.3	
3	18.1	16.8	19.8	46.3	15.3	4.5	
4	21.8	50.0	3.2	12.8	20.5	11.3	
5	27.5	64.0	10.1	2.9	2.5	14.3	
6	4.0	9.3	1.6	26.9	12.7	10.1	
7	3.9	16.6	2.5	24.7	2.5	8.5	
8	0.2	7.9	4.5	16.0	8.7	4.1	
9	26.7	47.8	16.4	55.7	22.1	6.1	
10	17.3	30.9	8.1	39.4	8.3	4.5	
4月～10月	3.6	4.4	3.1	13.2	11.4	7.9	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計」「建設総合統計」、内閣府「四半期別GDP速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

注) 公的固定資本形成は、名目、原系列値。

( ) 公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、公共工事請負金額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

(3) 住宅

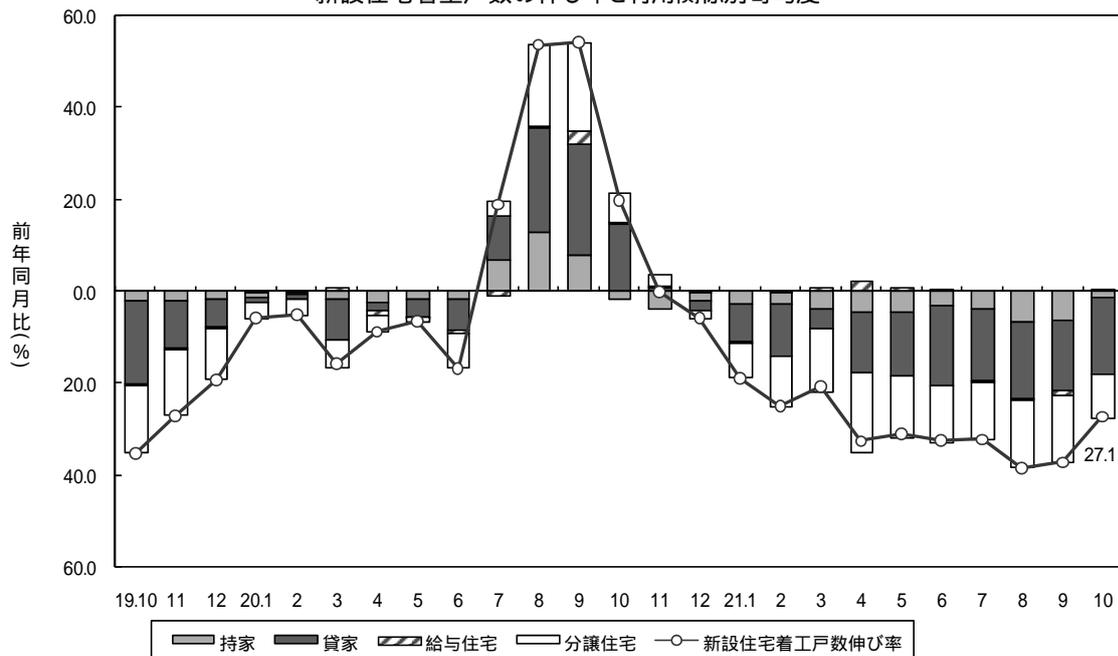
10月の着工は67,120戸。前年同月比でみると、持家、貸家、分譲住宅がともに減少したため、全体で27.1%減少(11ヶ月連続)となった。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成20年7-9月期1,102千戸(前期比1.2%減)、10-12月期1,031千戸(同6.4%減)、平成21年1-3月期887千戸(同14.0%減)、4-6月期758千戸(同14.5%減)、7-9月期708千戸(同6.7%減)、10月762千戸となった。

新設住宅着工戸数(戸、前年比・%)

区 分 年度年月		総戸数	総 計	持 家	貸 家	分 譲 住 宅		季節調整済 年率換算値 総戸数 (千戸)
						マンション		
年 度	18年度	1,285,246	2.9	0.9	3.9	3.3		1,044
	19	1,035,598	19.4	12.3	19.9	26.1		
	20	1,039,180	0.3	0.4	3.2	3.5		
月 次	20年10月	92,123	19.8	4.3	35.4	28.9	96.3	1,044
	1 1	84,277	0.0	11.7	1.7	11.0	43.3	986
	1 2	82,197	5.8	7.3	4.1	7.5	5.0	1,001
	21年1月	70,688	18.7	10.8	18.4	26.4	25.1	957
	2	62,303	24.9	9.9	28.5	34.4	35.6	866
	3	66,628	20.7	13.1	11.2	42.1	47.8	888
	4	66,198	32.4	15.8	33.0	54.3	65.9	779
	5	62,805	30.8	14.9	33.3	48.1	60.3	758
	6	68,268	32.4	10.5	38.4	50.0	68.2	749
	7	65,974	32.1	12.2	36.0	50.1	71.9	746
	8	59,749	38.3	20.0	42.2	53.5	71.7	676
	9	61,181	37.0	19.7	39.0	52.5	72.3	699
	1 0	67,120	27.1	4.9	35.6	40.6	63.4	762
累計	4月～10月	451,295	33.0	14.2	36.8	50.2	67.7	-

新設住宅着工戸数の伸び率と利用関係別寄与度



資料:国土交通省「建築着工統計」

<持家>

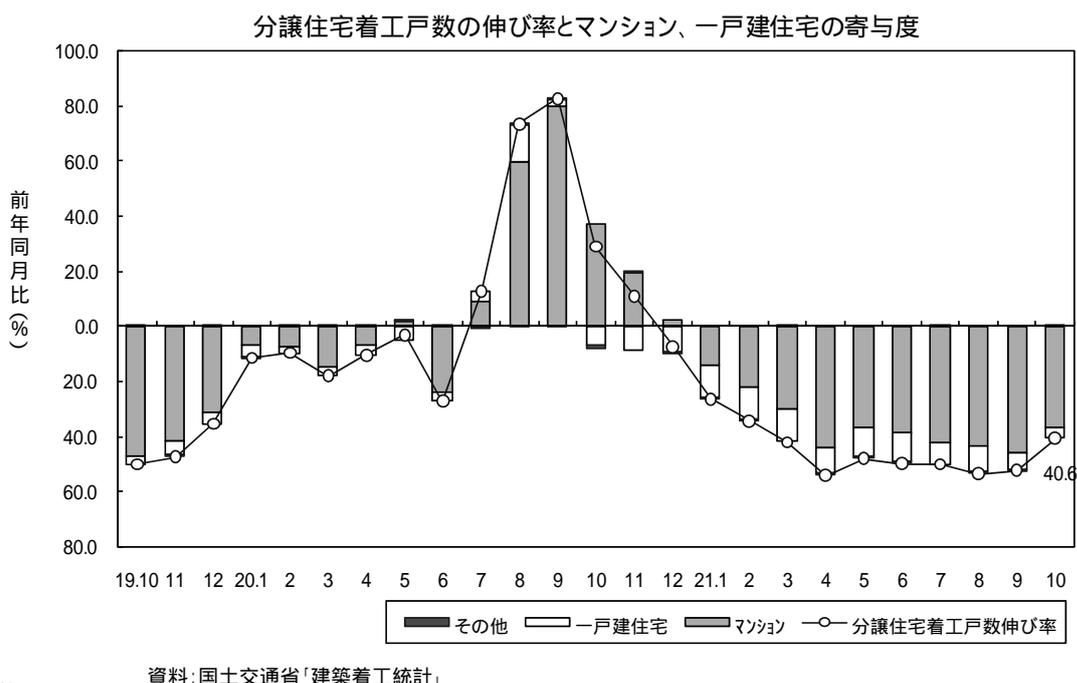
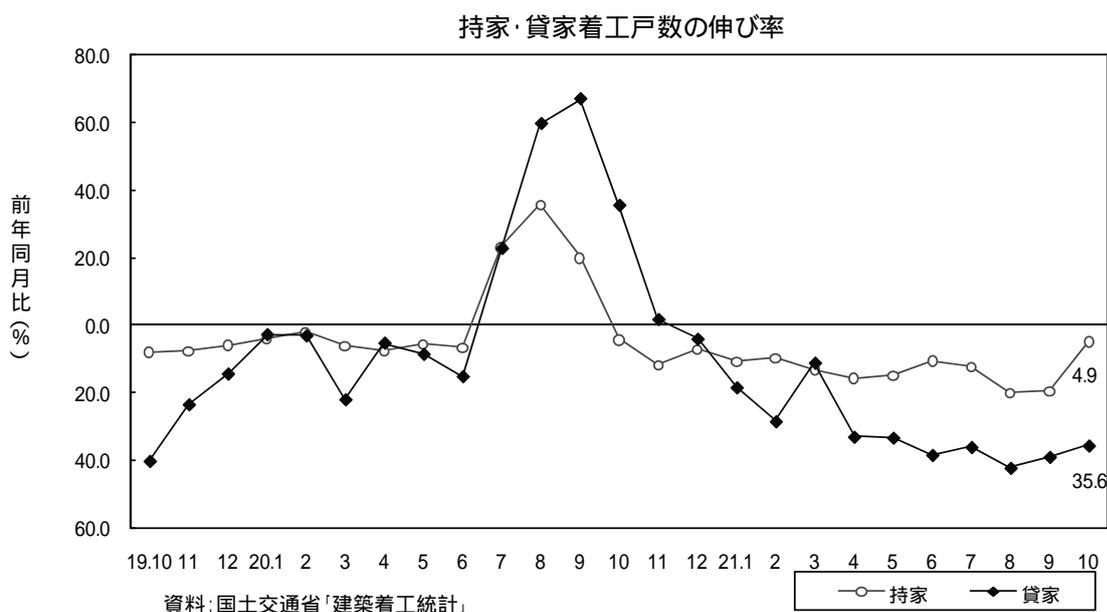
10月の着工は25,227戸。近畿、中国で増加し、全体では前年同月比4.9%減少(13ヶ月連続)した。

<貸家>

10月の着工は27,638戸。すべての地域で減少し、全体では前年同月比35.6%減少(11ヶ月連続)した。

<分譲>

10月の着工は13,048戸。北陸で増加し、全体では前年同月比40.6%減少(11ヶ月連続)した。マンションは4,712戸で、首都圏は減少(1,602戸、前年同月比73.5%減、10ヶ月連続)、中部圏は減少(135戸、同80.5%減、7ヶ月連続)、近畿圏は減少(1,783戸、同38.9%減、11ヶ月連続)、その他の地域は減少(1,192戸、同63.1%減、10ヶ月連続)し、全体では同63.4%減少(10ヶ月連続)した。一戸建住宅は8,252戸で、同8.4%減少(13ヶ月連続)した。



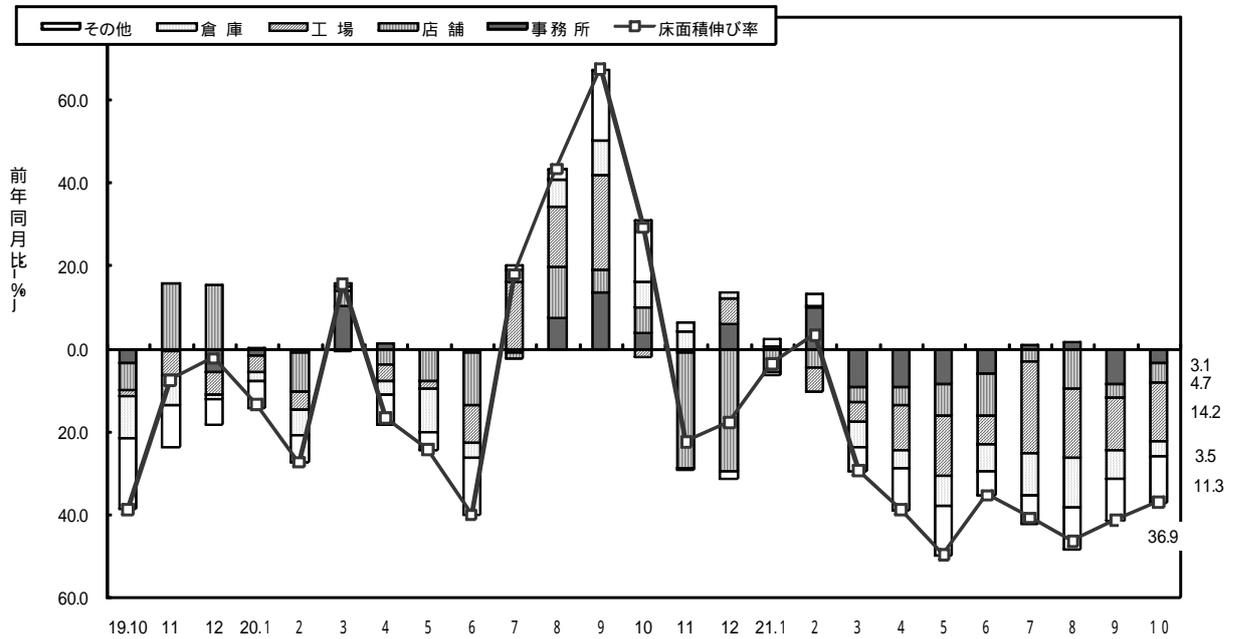
#### (4) 民間非居住建築

10月の着工床面積は269万㎡で、前年同月比36.9%減少(8ヶ月連続)した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は38万㎡で前年同月比26.3%減少(2ヶ月連続)、店舗は38万㎡で同34.2%減少(12ヶ月連続)、工場は43万㎡で同58.7%減少(9ヶ月連続)、倉庫は32万㎡で同31.8%減少(8ヶ月連続)した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」(平成21年12月実施)で平成21年度の設備投資計画をみると、製造業(大企業)は前年度比28.2%減少(平成20年度前年度比7.2%減少)となり、非製造業(大企業)は同5.5%減少(平成20年度同6.2%減少)となった。また、全産業(大企業)の生産・営業用設備判断DI(過剰 不足)をみると、「最近」は18、「先行き」は16となり、設備過剰感はやや弱まっているものの依然高水準にある。

民間非居住用建築物着工床面積の伸び率と用途別寄与度



区分		床面積					工事費予定額				
年度年月		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫
年	18年度	0.6	2.5	9.5	8.8	8.9	3.2	2.1	3.1	10.3	17.4
	19	12.2	5.2	14.9	21.9	19.1	8.3	3.2	13.6	15.1	13.4
	20	7.6	14.8	36.3	4.7	4.6	11.7	33.3	24.9	35.2	13.9
月次	20年10月	29.4	34.3	52.4	5.8	75.0	36.0	58.1	106.0	8.8	97.0
	11	22.4	6.5	71.8	1.7	66.4	7.9	27.2	64.2	5.4	61.1
	12	17.7	74.3	77.5	33.7	13.8	8.0	117.5	70.2	62.3	26.5
	21年1月	3.5	0.2	24.8	4.8	3.3	17.1	18.3	25.7	50.6	8.0
	2	3.3	72.8	25.3	24.6	5.2	36.7	121.6	21.4	17.4	21.7
	3	29.2	46.3	20.4	20.4	51.0	24.8	37.3	13.6	38.5	45.4
	4	38.8	48.0	30.3	48.8	34.8	31.3	38.1	18.9	41.5	39.7
	5	49.7	57.6	48.1	60.3	51.1	50.8	54.4	47.4	52.6	59.0
	6	35.3	41.5	46.4	33.5	46.1	25.4	6.8	49.8	41.0	45.0
	7	40.7	16.7	18.7	71.3	68.6	46.2	45.2	4.9	85.8	67.3
8	46.4	15.8	55.1	72.5	63.8	36.3	74.4	63.0	72.9	75.6	
9	41.3	59.0	25.7	55.7	47.8	40.1	50.5	28.8	59.9	49.2	
10	36.9	26.3	34.2	58.7	31.8	34.3	17.4	50.1	62.0	22.6	
累計	4月～10月	41.4	33.0	38.3	58.5	51.3	38.5	11.1	40.3	66.1	56.1

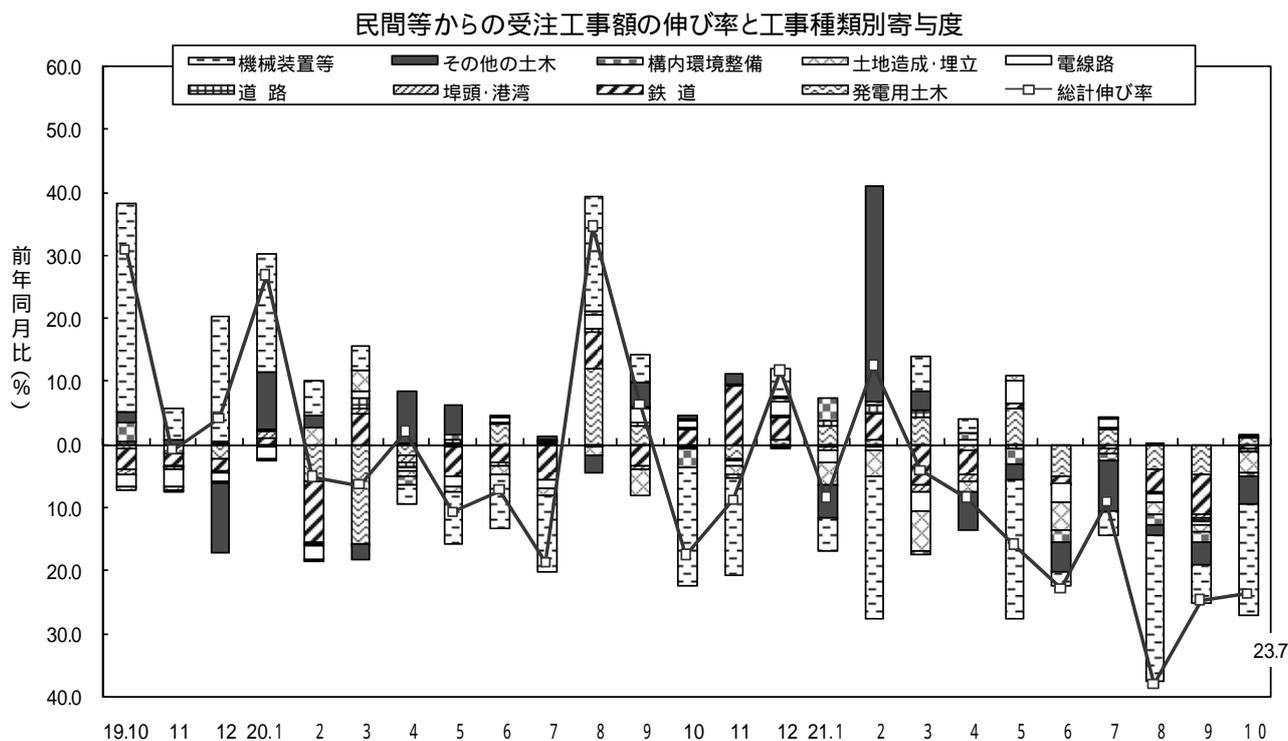
資料：国土交通省「建築着工統計」

( 5 ) 民間等からの受注工事 ( 土木工事及び機械装置等工事 )

10月の土木工事及び機械装置等工事の受注工事額 ( 1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。 ) は2,228億円で、前年同月比23.7%減少 ( 8ヶ月連続 ) した。

発注者別でみると、電気・ガス・熱供給・水道業 ( 前年同月比16.6%増、寄与度+2.6 ) 卸売業、小売業 ( 前年同月比268.4%増、寄与度+1.8 ) が増加し、製造業 ( 同39.6%減、寄与度-12.1 ) 情報通信業 ( 同49.7%減、寄与度-10.5 ) 等が減少した。

工事種別でみると、発電用土木工事 ( 寄与度+1.5 ) が増加し、機械装置等工事 ( 寄与度-17.8 ) 土地造成・埋立工事 ( 寄与度-3.1 ) 等が減少した。

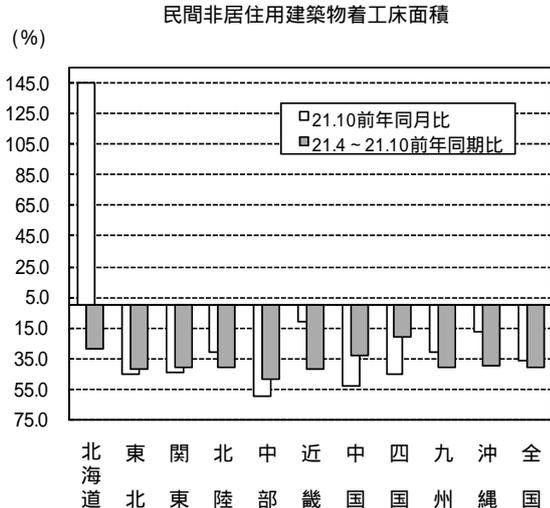
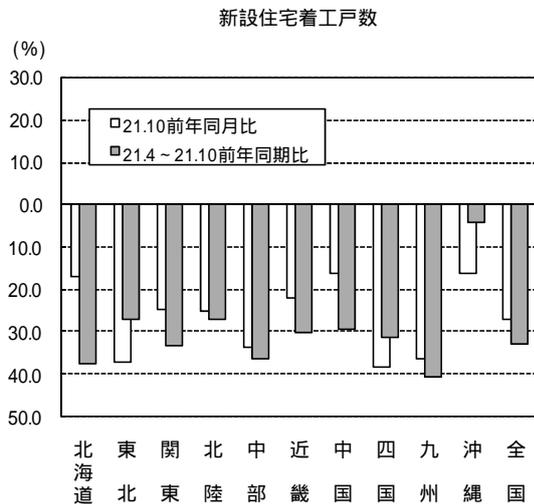
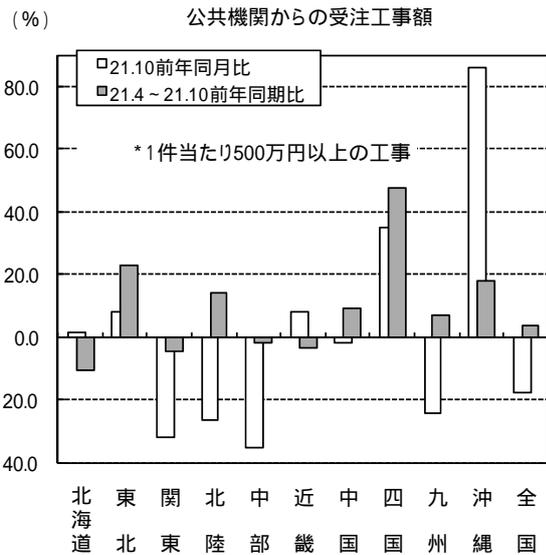
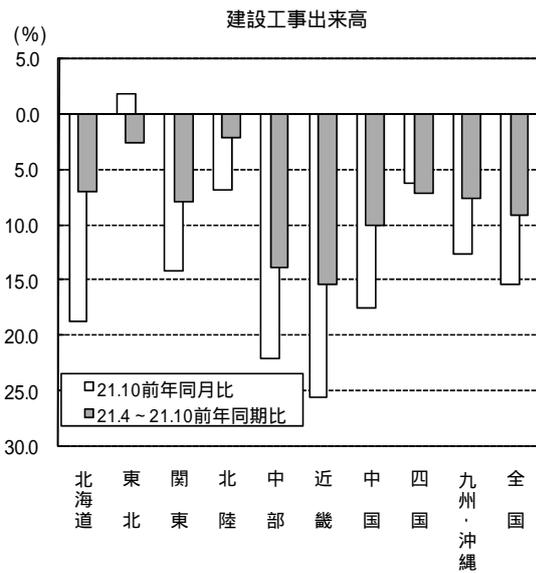


( 前年比・% )

区分		総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等
年度	18年度	13.5	110.9	32.2	1.0	1.0	17.6	24.4	25.1	10.6
	19	12.5	39.8	7.7	23.0	9.7	7.2	18.1	3.1	35.1
	20	1.7	68.8	1.7	22.9	21.3	2.0	30.3	0.8	11.4
月次	20年10月	17.5	5.2	27.4	3.8	21.4	11.6	3.4	57.4	31.8
	11	8.8	47.6	86.5	11.7	46.0	9.6	19.2	16.4	31.7
	12	11.7	34.1	27.2	32.9	68.4	27.0	3.6	14.9	8.5
	21年1月	8.4	291.5	0.6	36.1	118.4	15.1	59.9	163.5	12.2
	2	12.5	90.1	29.0	80.1	39.5	5.3	50.3	26.0	47.2
	3	4.2	238.6	22.3	70.7	11.5	38.6	60.6	24.1	16.5
	4	8.4	21.0	23.0	3.5	24.9	6.4	24.5	40.9	6.5
	5	15.9	243.2	6.7	4.7	11.9	41.1	15.5	61.4	48.6
	6	22.8	50.0	7.1	49.4	11.4	23.0	54.2	49.3	7.1
	7	9.2	163.5	3.8	255.6	17.4	8.0	2.2	32.4	10.3
8	38.0	31.7	22.3	45.6	37.4	15.8	43.4	50.5	54.4	
9	24.7	50.4	36.0	0.5	41.3	6.6	23.6	60.3	16.5	
10	23.7	78.8	3.9	21.1	87.1	2.8	53.6	28.0	36.7	
累計	4月～10月	21.3	15.9	16.3	16.0	10.6	0.6	28.6	38.7	26.7

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計」

## (6) 地域別動向



区分 地域	出来高	受注・着工				企業	雇用			
	建設 工事 出来高	公共機関 受注	新設 住宅	民間非 居住用 建築物	民間等 受注 (土木・機械)	建設業 倒産 件数	建設技能 労働者不足率 (6職種計・原数値)		有効求人 倍率 (季調済)	
	4月~10月	4月~10月	4月~10月	4月~10月	4月~10月	4月~11月	10月		10月	
	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	%	前年差	倍	前月差
北海道	3.9	10.6	37.3	28.6	24.0	41.7	0.4	0.2	0.38	0.02
東北	3.5	22.8	27.0	42.7	10.1	29.4	0.2	0.2	0.35	0.01
関東	6.7	4.3	33.2	41.2	24.5	17.0	3.6	2.1	0.45	0.01
北陸	1.1	14.4	27.0	41.2	32.1	5.4	1.3	3.3	0.49	0.01
中部	12.2	1.9	36.2	49.3	26.8	18.3	0.2	0.8	0.47	0.01
近畿	13.4	3.3	30.1	41.9	33.7	4.9	6.8	6.2	0.45	0.01
中国	8.6	9.1	29.3	33.1	3.3	36.8	4.1	2.6	0.55	0.01
四国	7.3	47.9	31.2	20.8	7.6	11.8	0.6	1.0	0.56	0.01
九州	6.5	6.9	40.4	41.7	7.2	24.6	2.8	2.9	0.40	0.01
沖縄		18.2	4.2	40.1	50.3	55.0	0.8	0.4	0.28	0.01
全国	7.9	3.6	33.0	41.4	21.3	3.5	2.3	1.7	0.44	0.01

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計」、「建築着工統計」、「建設労働需給調査」、  
帝国データバンク「全国企業倒産集計」、厚生労働省「職業安定業務統計」

注) 建設工事出来高の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。  
建設技能労働者不足率は、プラスは不足、マイナスは過剰を意味する。  
雇用に関する指標の前年差、前月差の単位は、ポイント。